夕刊
磐城新聞
九月十六日發行
定價　一ヶ月金五十錢（郵税金六錢）
廣告料　普通欄一行金六十錢
發行所　磐城新聞社
〔日曜祭日翌日休刊〕

野球に就ての小感

泉村　甘南備三十二

短い學生生活中何の束縛もない自然兒として恵まれた野球生活に就て聊か所感を述べて見度ひと思ふ

野球は元より團体的の運動なればチーム全員の氣分の合致と云ふこと、即ちチームワークのとれて居る事が絶對的に必要なことは今更論を俟たざることながら團体は元々個人の集りである以上、先づ其の各人が技倆の優秀なることを第一條件とせねばならぬ。又尠くも選手個人として『球を見る目』を涵養する事である

例へば外野手に於ても此の飛球は延びる性質であるか、落ちる性質の球であるかを直ちに見破ることが重要なことの一つであると共に、打者としては投手に向つた場合も亦同樣なことが云ひ得られる譯である

彼のベーブルース等はスモークボールでも其の球の縫目が見へると豪語して居るが、假令それまでになれなくとも可久的『球を見る目』を養ふ事に努めねばならぬ。私は其爲めに比較的多くの時間をキャチボールに費したものであつた。其他個人としては足の速い事走者に出た場合味方の飛球等に對する判斷力を養ふこと等も重要な事である。野球は個人的に如何に技倆が優れて居てもトーナメント式のものに非ざればチームワークに缺けて居るチームは勝利を望むことが寧ろ無謀である

ベンチコーチ等のサインに對して不斷の注意を拂ひ打者としてボックスに立つた場合、又ランナーとしても壘コーチャとなつても同様である。スクイズのサインが出て居るにも拘らず打者が汜やりして居る爲めに走者がアウトになる事等は偶々見受けられることであつて一點を爭ふと云つた貴重な試合になれば益々其の獨り功名的な行動を愼まねばならぬことを痛感する

要するに野球はグラウンド全体が全員の活動舞臺なればば直線連絡に走つて正規の場所で可然連絡を保ち、出來得べくば外野手の走つた場所と其の投ずべき壘への直線上で速絡することが必要と思ふ。共同動作と云ふ事で常に遊撃手が輕馳するチャンスは壘に走者が居てこれを打者がバントして一點を獲得する氣持をデルバーした時に三壘手は投手のモーションと同時に走者より先きにスタートすれば走者は大低の場合壘手に依てスタートするのであつて、其間に遊撃手が三壘に這入つて捕手よりの送球を待つて走者をアウトし、又次に三壘の走者牽利に這入る場合に壘手と共に謀つて走者をアウトをなすこと等、何れも連絡動作がとれて居ると云ふ實例で常に輕馳した事である

潮聲硯静抄帳

大和田秀勝選

『キャムプ』

キャムプして瀧音近く聞く夜哉　欽一
白樺の林につゞくキャンプかな　芳月
木の股を假りの自在にキャンプ哉　松堂
松の間に夕餉の烟やキャンプ村　長貴
月影にうき出し露營の天幕かな　同
キャンプ村流るゝ音に明けにけり　鶴歩
山の香をこめしキャンプの便り哉　同
キャンピング皆一様の若さかな　城月
檜穂高前にひかへてキャンプかな　同
潮の音にキャンプのレコード消されたり　武門
うるしかぶれてキャンプの弟戻り來ぬ　同

歌謡小説　母　（五）

伊納川銀

目がぼうつとかすんだ。

默然と坐り直して言葉のない祖父と祖母

『金を自由につかはせて學校をずつと上迄あげりや子供を可愛がつてる事になるとでも思つてるか知れないが、僕はそんなものより温い親の愛と兄弟たちとの睦かほしかつた。祖母ちゃんだつて知つてる筈だ。暫く兄弟たちの所へ遊びに行つて歸つて來ないと言つて頑張つたこと、たが結局だまされて歸つて來て暗い納戸の隅でしく〳〵いつ迄も泣いてゐた事、子供にとつて親の、いや母の愛情は決定的に必要なのだ。その母から僕をひき離してその上冷たい家庭の空氣にひたしたのは誰なのだ。僕は家庭で滿たされない愛情の不滿をそとに求めた、だが家でさいも求められない愛情が、冷たい浮世でどうして求められる筈があらう。惡くなつた、そうだ自分でも驚く程惡くなつた。だが一体そんなにあなた方から親不孝だと言つて責めらるゝべきだらうか』

興奮の渦の中にのどをならす激しい嗚咽

『そんなら一体どうすればよいんだ』

祖父の弱くなつた語氣を激しく抑えて昂然と

『今のまゝ默つて置くことだ。僕が自らを滅ぼして濟算する迄、それが嫌なら僕を四つの昔に歸してくれることだ』

『そんな無理が』

『そんな無理をなぜ僕が言はなくちやならないか』

戸がいきなり開いて、ひろ子が矢庭にかけこんだ

『銀ちゃん、それが無理でなくてなに?』

祖父も祖母も僕もはつとしてひろ子をみつめた

『あなたの、あなたの言ふ事、それはみな本當かも知れないわ、でもそれをあれこれ批判する事は貴方には出來ない筈よ、あなたも又責めることを知つて許す事の出來ない方ね』

『えつ?』

『おぢさんもおばさんも、どうぞ心配なんかあんまりしないで、銀ちやんはどんな事をしてもちやんと自分が判る方だわ。わたしがきつと銀ちやんを昔の銀ちやんに還して見せますわ、きつときつと』

『ばかつ!』

いきなり激しい怒りが湧き立つた

拈華微笑

◇福島に合祀さる石城の四靈、在天の雄魂毅魄莞然たらん

◇赤字補塡に紅葉の川前を引つ張り出した鐵道

◇組合費のストックにあやまつてる木炭組合

◇右の手で救つた事を左の手に知らせぬ奇特な飯野の農夫君

◇金風颯爽は結構だが砂埃丈けは良い加減にして欲しい

女給（詩）

汎　陝之介

透明なグラスの黄色の液
体でありながら
女はソーダ水
僕はビールできりなかつ
た
ビールは觀客を笑はせる
自らに泣き濡れ
ぼう〳〵と口を歪めて人
生を嘲笑する
女よ
衰殘と嬌笑と媚光の下に
立ち
ろん〳〵と燃え上る嫌惡
の感情の中に
なぜ自らを泣かしめるか
僕は一本のストラウとな
り
女の氣管に突入したい
女よ
僕は
悲しい時には笑つてゐる
のだ

社會の今日

○

衣服を飾ると云ふ事の中には、智慧の乏しきと云ふ事を含む　西諺

殘る蚊の影よろぼへり夜の壁　良太

9月17日

△安倍貞任誅に服す（康平五）△浮世繪師歌川廣重歿す、年六十二（安政元）△ブルガリア廢帝隱遁生活の條件を以て本國に歸らる（昭和五）

講談　幕末神風組　（5）

土生太郎作
高根秀浩畫

暗謀　（五）

『それッ!』

口の代りに身ぶりで知らせる覆面の命令、十五六人は眞二つに分れて、一半は淺野の前に、一半は淺野の後に、パッと位置を取つて刄をつけてゐた。

『聞かう、貴公等は、拙者を斬りたいのか』

それとも拙者に斬られたいのか』

それに答へる代りに、屈强の一人の覆面が、彈丸の樣に淺野を突いて來た。

『どこへ行くのだッ』

淺野の聲が聞えたと思ふ間もなく、その覆面は腰を蹴られて前の方に游いで行つた。

續いて一人、

更に一人、

うすづいた月光の下で、淺野を中心として圓陣が、グルリ〳〵と廻る一まはりグルリと動く度に二人か三人は空を游いでは堤からのめり落ちる。

圓陣が廻つた。刀がキラッと光つた。

圓陣がつぼんだ。

圓陣がパッと開いた。

二人の覆面が向き合つたまゝ空中に圓を描いて倒れた。淺野の當身が利いたのだが、まだ淺野は拔かない

そのうち、横合から矢のやうに六尺棒が飛び出た

カッツ!

淺野の鍔は完全にその棒を受けてゐた

棒が引かれた

刄影が一筋サッと淺野の背後から流れた。その時と同時に、再び棒が淺野の袖口から入つて、後襟に拔けた

斜眼の田樂が効を奏したのである

ギリッと捻が來た。思はず淺野の足が蹌踉とした

又一筋刄影が月光を反射させた

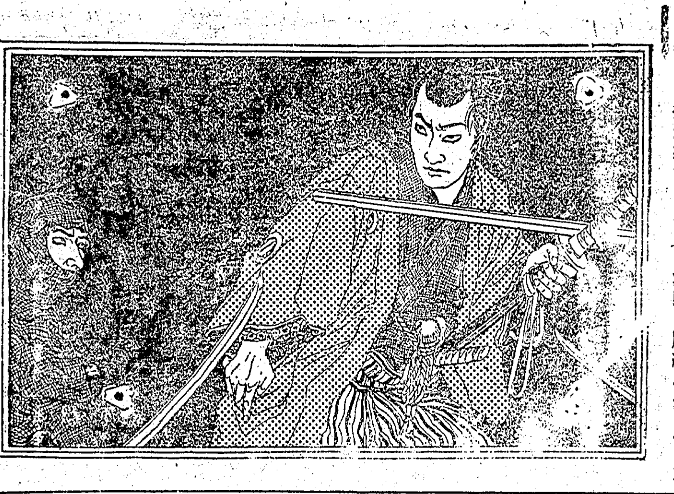
と、淺野の片足が一人の覆面を河に蹴込んだ

たが淺野は既に自由を失つてゐた。背中に通つてゐる棒は、一段と彼の力を殺いだ

二度、ギリッとしめかかつた瞬間、淺野の上体は斜めになつた

銀蛇?青光るそれが將に振り下されようとした刻秒の間に、どこからともなくとんで來たつぶてが、刀を振りかぶつた覆面の眉間に發止と當つた

アッ!叫ぶより早くのぞけざまに倒れる。その隙を見て、淺野の怪腕はゴキと骨鳴りして、背に通つてゐる棒を美事に二つにしてゐた



『……………』

無言、憂然として淺野の鍔が鳴つた時、三つの影は同時に倒れてゐた

『拔いた……』

覆面の一人が低く叫んだ

『逃げろ』

續いて又一人の聲

それも待たずに十五六人の覆面は木の葉の樣に散つた

ニョキッと立つてゐる淺野の背中をポンと叩いた者

『淺野樣、危い所で御座んしたねえ』

女、それは染香であつた

『要らぬ世話をした』

淺野は腕組み乍ら言ふた

染香は凛々しく澄んだ淺野の眼の色を覗く樣に見て

『まあ、負け嫌ひの淺野さま』

と言ふた

『送つて行かう』

淺野の簡單な聲の中には彼女への感情があり〳〵と分つた

明らさまに禮を言ふ代りに此の武骨な淺野の言葉は別の意味で染香を喜ばせた

『えゝ、そこまで送つて下さいましな』

それから二人の姿が、堤の闇に隱れて行つた。棒の折れを持つた一人の覆面がキッとそれを見送ると、やがて又闇に消えた

吉田眼科病院

平町新川町
木村病院
電話一六四番

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
（電話一二九）
病室完備

耳、鼻、咽喉科
氣管食道科專門
平町南町（電一〇七番）
大和田醫院
大和田郡司
（自炊の便あり）

小兒科・內科
特ニ乳幼兒ノ健康相談ニ應ズ。
平町。ねずみ坂
渡邊醫院
電話一六一番
滯留隨意

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

專門
一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

產科
婦人科
花柳病科
午前宅診
午後往診
入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
◎秤ノ取替 緒・垂・糸・修覆致シマス
關內藥局
電話四〇番

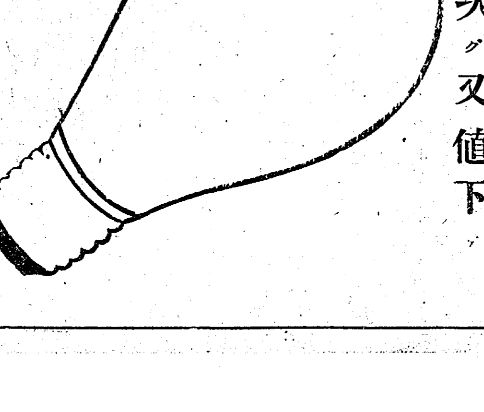
ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下
十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三 大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山內醫院
醫學士 山內亨吉
電話六九一番
入院隨意
病室完備

新製品發賣!!!
ジャバ・モカ・グアテマラ　本場コーヒー三種配合挽立
コーヒー通待望のコーヒー來る……!
1/4封カン入三五錢
1/2封カン入七十錢　味覺滿點
香味本位の本場銘茶を召上りませ……
電三九六番
銘茶 大勝園

內外建築材 建具材
磐城國平町（公園下）
入 阿部材木店
電話四九四番

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
『入院のお需めに應ず』
齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院



燦矣武勲
福島信夫山招魂社へ 石城出身四靈を合祀
來廿三日縣で大祭執行

明後十八日はめぐりくる日支事變勃發二週年記念日である。滿洲の野にあつて轉戰いく度赫々たる武勲を樹てた第二師團管下の本縣は意義深きその日を記念すると共に護國の鬼となつて殉じたる尊き英靈を慰めることになつてゐるが縣ではその日より遅れて二十三日午前十時福島市官祭信夫山招魂社の祭典を機に同社へ戰病死者の合祀祭並びに慰靈祭を執行することになつた縣出身の戰死者は百十三勇士でその中既に靖國神社に合祀された八十三勇士を今回合祀し、あとの卅勇士は慰靈するだけに止め追つて靖國神社の合祀をまち合祀することになつてゐる、郡下關係勇士は左の諸士である

合祀者―江名町中田七造(黑龍江省大興戰死)小名濱町佐川森男(奉天省新立屯戰死)鹿島村鵜沼美光(上海戰死)大野村木田龜之助(大石橋戰死)

明治神宮豫戰 濱三郡軟式野球大會
あす三球場の爭覇

濱三郡軟式野球大會は愈々明十七日午前八時より磐中、平商、第一の三球場で石坂熊、水竹、國井、佐藤各審判の下に開催されるが今大會の優勝チームは來月一日郡山で開かれる縣下大會に若松、福島の各代表と覇を爭ひ後仙臺の東北大會を經て明治神宮の檜舞臺に出場するものであれば大接戰を演ずるものと期待されて居る

法曹對營林
けふ第一で對戰

平法曹團では來月八日郡山で開かれる縣下法曹團對抗野球大會の前哨戰として今十六日午後一時より平第一校庭に於て平營林署と對戰した

◦◦◦鐵道野球練習 平驛では既報の如く近く構內の軟式野球大會を開催することゝなつたので機關庫車掌所の各チームでは今十六日から第三校校庭で猛練習を開始した

第三校運動會 平第三小學校秋期運動會は來月十五日開催する事となり今十六日職員會議を開き準備に就て協議した、尚ほ來る二十八日には童話會を催すと

◦◦◦第四區競技會 郡第四區十一校の兒童競技大會は今十六日午前九時から秋晴れの草野小學校々庭に於て擧行されたが參觀多數盛會であつた

◦◦◦◦第一競技會豫選 第一校では今十六日午後一時より來月一日磐中で開かるゝ第三區競技會豫選を行つた

縣下体育大會出場 郡代表選手詮衡會
あす磐女校庭で決定

來月一日若松で開かるゝ縣下青年團体育大會の石城代表選手詮衡會は明十七日午前九時より磐女グラウンドに於て

磐中下山田、磐女永島、第二佐藤、小名木田、高坂出子

の委員により開催、走巾跳、千五百米、スエーデン、砲

稀有の盛況裡に 松岡氏經濟講演
聽衆二時間の長廣舌に醉ふ

平商工會主催東日編輯顧問松岡正雄氏の滿洲事情講演會は既報の如く十五日午後七時からマルトモホールに開催、立錐の餘地なき盛況で定刻山崎與三郎氏の開辭に次で松岡氏は一々地圖に就て與主嶺の農事試驗場に立つて大滿洲を鳥瞰した感想から滿洲國獨立完成の急務、交通情況、關稅問題、國際聯盟等にからむ滿洲問題の重要性、我國民の覺悟等繚々約二時間の長廣舌を揮ひ終つて九時二十分から別室に於て有志約二十名の座談會に入り、山崎氏から謝辭、松岡氏の挨拶あり午後十時二十分盛況裡に閉會したが同氏は今十六日午前九時發磐越線で若松に向つた

平商對古河柔道戰
明十七日古河道場で

昨報―平商對古河の柔道試合は明十七日午後一時より古河道場に於て行ふが組合せ左の如し

平商	古河
酒井	山野邊
佐藤	鈴木
高木(吉)	平野
高木(金)	金成
小宮	小幡
會川	櫻井
千葉	諏訪
西川	栗原
木村	大森
金成	伊藤
千葉(正)	小村
志賀	高荒

平三小學競技準備
選手詮衡を急ぐ

第三區兒童競技會は愈々來月一日磐中グラウンドで開催されるので第二校では熊谷その他擔任訓導指導の下に目下放課後直に練習詮衡中であるが第一、第三の兩校も近く詮衡會を開き正選手を決定來月廿九日の郡大會にも備へる事になつた

◦◦◦◦◦入山体育奬勵 入山炭鑛では吉田所長の發案により過般來從業員にラヂオ体操を奬勵中であるが漸次全從業員に及ぼす方針であると

三校庭球選手 勇躍して福島へ
明日の縣下神宮豫選大會

磐中―小川、川隅、平商―安島、木田、磐女―熊、渡邊、前田、戶來の各庭球選手は愈々明十七日福島市に於て開催される縣下男女明治神宮豫選大會に出場の爲今日午前九時發で出發した

仙鐵が折紙を附けた 山水双美の川前幽境
往復二割引の觀楓切符發賣

鷄谷の霜に彩られた錦繍の秋。燃え立つやうな紅葉の眞の妙は山水双美の幽境川前の其れを以て天位に推されねばならぬ、わけて秋陽を浴びて神斧鬼鑿の斷崖に黄紅を重疊する雄大絢爛さは山水癖者の斷じて捨て難い處。ここを覗つた仙鐵當局は本年馬力をかけて之を世に紹介すべく來月十日から十一月二十日頃迄發賣驛を定めて往復二割引の切符を賣り出す事になつた

組合費が納まらぬ ご難の木炭組合
存續決定に矢繼早の惱み

揉みに揉んで漸く存續に決を增員し極力品質改良に努めた濱三郡木炭同業組合でむると同時に移出商組合と協力して販路擴張出荷斡旋に努力し更生の途を辿る事となつたが組合の癌でも云ふべき滯納組合費約四千五百圓が强硬な督促にも關らず少しも進捗せぬので組合の活動を阻害する事少からず引續き之が整理に手古摺つてゐる

佐藤校長渡鮮
本縣教育會募集の滿鮮視察員は本郡から內郷尋高佐藤一氏に決定したが期日は來る廿日より來月十日迄の廿一日間であると

平町會
けふ開會

平町會は今十六日午後一時から開催、四町目百澤才八郎氏から小學校基本財產へ百圓及双葉郡浪江町桶渡張上三八岩倉明氏から町費へ二十圓、傳染病隔離舍備品として柱時計一個(價格十一圓)の寄附採納、隨時特別稅戶數割賦課額三百六十圓二十七錢、職業紹介所法施行規則改正に依る紹介所の規程改正、區長一丁目明智榮司、四丁目松本愛三、五丁目山部友治新川町長小次郎、立町佐藤榮吉、才槌小路色川勝三郎、同代理五丁目石川幸太郎、鎌田青木龜吉兩氏の推薦等を附議し終つて第四小學校敷地問題を協議した

溺兒を救ひ上げ 名も告げずに去る
飯野村某氏の隱德

平町新川町利夫氏二男安島利男(六)君は昨十五日午前十一時頃友達數名と遊戲中誤つて堤から新川に轉落溺死せんとしたのを通り合はせた飯野村下荒川農某(三十二、三歲位)が發見着衣の儘飛び込んで救ひ上げ當人を自宅へ送り屆け氏名も告げずに立去つたのでその奇特な行爲を賞讃されてゐる

投槍
投書歡迎

◦◦◦◦◦奇怪な寄附强要。

◇妾は單に偶然とばかり思はれぬ次ぎ〱と發生した境遇の激變から、どうしても今は人間以上の或るものの力を賴らねばならぬと云ふ燃ゆる如き所謂求道心から先頃來我々凡人の爲に安神立命を授けて呉れると云ふ某所へ通ひ始めました

◇病難苦死一切、人生に生ずる波紋の總てを一から十迄神の攝理に歸納して苟も曲つた思想行爲を戒める其の道の敎えは自分の前途に橫たはる一切の問題を解決し惱める自分をして始めて生き甲斐ある生涯に導いて呉れたのでした

◇處が幻滅の悲哀と云ふのでせうか?。ある日其れ迄無條件で信賴して居たそこの責任者から突如本部への獻金を迫られたので今迄の崇敬が遽然として解消して二度と再びそこへ出入するが厭になつちやつたんです

◇其所の維持費として若干の負擔は私とて之を回避するものではないが一旦家へ歸つて主人と相談してからと云つた處が『○樣の爲だからそんな考慮の餘地が無い、卽刻その額を決めて貰ひ度い』と云ふんです之では夫唱婦隨の家憲が根本から毀されて了ふんです

◇昨御紙の亂暴な寄附要求、云々の記事は或は我々が虐げられた某所に對する司直の發動ちや無いでせうか、兎まれ今の世に黄白の提供によらずんば敢て顧みて呉れぬと云ふ淫祠邪敎の存在は絕對にゆるされぬ觀念です、どうか徹底的の膺懲を願ひます(お城山一寒女)

インチキ露商退治
先づ人絹賣りを槍玉に

昨十五日午後二時頃平郵便局前で人絹を本絹と詐稱し暴利を貪つて居る露店商人あるを平署員が發見連行取調ると右は東京市深川區古石田町一香具師北村亀吉(三)で數日前から同所で八十圓を賣却した外全國を股に欺き廻つて居た事判明したので被害者に反物の引換え方を命じ引續き嚴重取調中で尙同署では聯珠、將棋を始めインチキ大道商人の掃蕩を期する事となつた

◦◦◦神谷二毛作講演 二十六

改定讀本
三小學委員が協力 編纂

平町各小學校では過般來改定鄉土讀本の編纂を目論み之れが調査に第一坂內、力丸、第二、金澤、荒、第三新家蛭田の各訓導が委員となり材料の蒐集に努めた結果近く委員會を開き印刷する事になつたがその內容は鄉土敎育と町に對する關係その他產業、金融、交通、神社佛閣を網羅したもので之れが完成後は町民に寄與する處少くないので一般から期待されて居る

南鮮水災義捐募集
平町から百圓

平町では南鮮地方の水災に全町から百圓の義捐金を募集する事となつた

第二校鄉土資料蒐集
近く全職員が調査着手

平第二校では校內鄉土室の充實を圖る爲近く全職員を數班に分け鄉土の各產業、偉人略歷、現住戶口、名所舊蹟、其他參考資料を詳査し昨報粘土寵によつて出來上つた兒童作製の偉人像に添附する說明その他に資すると

日午後一時から農試分場で開く

◦◦◦◦第二衞生掲示 平第二校では秋の惡疫流行季に際し指先の衞生に就て掲示敎育をなし生徒の注意を促して居る

磐女音樂會
磐女校では既報の如く來月八日午後一時より音樂會を開催するが同校卒業生である栗城愛子、杉下薰子の兩嬢が特別出演する外平町方部小學校に獨唱、齊唱、合唱、遊戲等の出演方を依頼すると

艶聞黑白

◇鈴を張つた明眸と水谷八重子の齒の持ち主として百パーセントの魅力を發散して町の果隅に納まり、最近では可愛い、第二世まで設けてはたの人々を羨ませて居た元三好家の高子さん、最近故あつて可愛いゝベビーを親元にあづけ再びデビューするとかや◇今月一日現在平組合藝妓一覽刊行さる、恒例語呂合せを一席。客の野心の鬪星を月丸(玉川)は如何、發デンして喜多子(谷口)は前にも紹介した事があり、戀文なかきつ(三好家)は豫妓らしく夜トギのおちさん小波(山形家)山人は惡どい駄洒落◇如何に千松(吉野家)は思案の態か主がサゲ丸(開花)には少々アテられ、要求を菊枝(湖月)鐵砲上げる市太郎(仲家)人目の堀を小ゑん(福清)なんて迚も愉快◇何でも榮子(茶家)はわかり早く貯金がますみ(金榮)は愈々開店の準備か。アラ嬉いちやつたア

俵二十錢高
昨大浦の白米取引

昨十五日の大浦農業倉庫米穀共同販賣は數量五等二等外甲三四、計五十六俵で四等米建値八圓四十錢で大野村瀨谷秀造精米所に落札したが前回より俵當り二十錢の高値を示してゐるが右は品質本位で取引した關係であると

◦◦◦醸造出品勸誘 第九回縣下清酒品評會は來月十日から十三日迄福島稅務署に於て開催されるので平稅務署では目下管內各方部に亘つて右出品物を募集中であるが締切りは來る三十日であると

公民學校開始
平商內平實業公民學校は愈々來月二日より本格的授業を開始するが科目左の如く月謝五十錢で願書提出期日は來月一日迄であると

修身、公民、國語、數學、珠算、商事要項、簿記、地理、歷史、英語

磐女旗行列
磐女校では明後十八日の滿洲事變勃發二週年記念日に際し午前九時より校長の訓話後忠魂碑に參拜、各自新滿洲國旗を振りかざし町內を旗行列すると

◦◦◦◦我校長慰勞宴 平保護者會では今十六日午後六時よりマルトモホールに於て我校長慰勞會を開いた

◦◦墜落 湯本町榮田七七材木商矢吹佐市氏方雇人齋藤文治郎(三〇)氏は十一日午前九時半頃材木積重ね中誤つて七尺餘の高所から墜落腰部に全治一ケ月の重傷を負ひ今十六日平署に災害扶助法に依る屆出をなした

◦◦家出 白河町橫町一六三雜貨商飯出金春(五五)は十日些細な家內揉めから家出したが自殺の虞れあり知人を賴つて平町方面に立ち廻る見込で今十六日妻トヨから平署に搜索方を願ひ出た

◦◦橫領 當時住所不定大沼郡生れ遊藝人小林光次郎事星喜幸(三七)は去る十二日午後六時頃植田町地內で同町赤津留吉氏遺失の現金五十圓八十錢在中の蟇口一個を拾得橫領、罰金三十圓

◦◦◦俵米品評會 平町外十一ケ町村聯合第三回俵米品評會は來十二月中旬に開催さるゝが收穫豫想のつき次第關係者の打合せをなすと

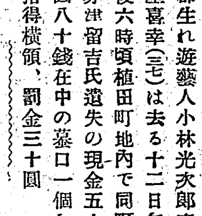
板間稼ぎ送檢
內鄉村大字綴字堀坂油行商人伊藤粂三郎(四五)は去る一日午後七時半頃湯本町字三函安住正積方より銘仙一反其他好間村古河炭鑛共同浴場脫衣場より金側腕時計一個(價格二十五圓)を竊取今十六日送檢された

靜岡縣人會
平町在住靜岡縣人會は明十七日午後五時から住吉屋本店に於て開催するが會費金二圓五十錢で多數の出席を歡迎すると

四倉通信

◦◦◦◦◦校舍增築落成式 四倉小學校では來る二十六日午前十時より同校に於て新校舍新築落成式を擧行し記念の兒童製作品展覽會を開くと

子の泣き聲賊を走らす 四倉町仲町寺町十松方に昨十五日午前二時頃後面の賊忍び入つたが子供の泣き聲に驚き一物も得ず逃走訴へ出により四倉署にて犯人嚴探中



舊七月二十八日 日曜 丙戌 佛滅 除 星宿 新九月十七日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神讃館

▲一白の人 事業上の喰違ひを生じ易く損害大なるべし▲二黑の人 謙德を重んじ內外の親みを厚ふせば極安全▲三碧の人 虛榮心を捨て眞面目の生活を營まざれば凶▲四綠の人 小事なりとも重視して心許さざれば喜あり▲五黃の人 靜かに處置を講ずれば死地を脫するに至る▲六白の人 義理を守り人情を盡して人に接すれば大吉▲七赤の人 せい實に本業を勵みて益繁榮を呈すべき吉日▲八白の人 押して進まんとする時は敵を求むる事あり▲九紫の人 自己の權威を失ふ事あり注意業務上其他吉

支那そば 洋食 道具一式 格安御讓致し度し
御希望の方鳥菊方に御來談下さい。
南町 鳥菊 電話二八六番

磐城共濟病院 電話六四一番 一二四番
內科 小兒科 產婦人科 外科 皮膚性病科 耳鼻咽喉科 X光線科 物理療法科 藥局 衞生試驗所
院長醫學博士 石山謙郎
副院長醫學士 五十嵐雄二
部長醫學士 有馬勇二郎
醫學博士 石山謙郎
技術員 石山彥
藥局長 藥劑師 吉本孝平
獸醫 高後利雄
事務長 鈴木寶雄
△診療時刻 午前八時より午後五時迄

產婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 玄番彌一
入院隨意 病室完備
平町新川町十九番地 木村病院 電話一六四番